

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和5年度 第4回郷育推進会議
開催日時		令和5年11月13日（水） 18:30～20:00
開催場所		市役所本館 庁議室
委員名		(1) 出席委員 伊藤副会長、木本会長、原尻委員、濱田真委員、東委員、宇都宮委員、井上委員、濱田遼委員 (2) 欠席委員 柳田委員、山口委員
所管課職員職氏名		郷育推進課長 谷口 篤 郷育推進課郷育係長 坂本 剛章 郷育推進課スポーツ文化振興係 落谷 拓人
会 議	議 題 (内 容)	○福岡ブロック社会教育委員研修会の実施報告について ○その他
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	—
	傍聴者の数	0人
	資料の名称	○アンケート結果 ○福津市教育大綱 ○福津市教育総合計画 ○福津市生涯学習推進計画
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録
		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
		<input type="checkbox"/> 要点記録
		記録内容の確認方法：会長による確認
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

事務局挨拶

1. 開会のことば

2. 協議事項

○福岡ブロック社会教育委員研修会の実施報告について

●会長

当日は天気も良く多くの方が来てくれた。従来、社会教育委員のみが参加するのが通例だったが、今回はフライヤーの効果もあって様々な立場の方が来ていた。

研修内容に対する感想も概ね好意的なもので、参考になったとの意見が多く研修の意図が参加者にも伝わったと思う。

委員の皆さんにも研修内容と運営面での感想をいただきたいと思う。

●委員

講師の話やパネルディスカッションでの話を聞き、自分に求められている役割を理解するきっかけになった。

運営面では、資料の挟み込みで誤ったものを入れてしまい手間取ってしまった。行動する前に皆で資料の確認を行うことが出来ていれば良かった。

お弁当のゴミを捨てる場所の表示があれば良かった。

●会長

社会教育委員と一般でアンケート用紙が異なるのが少し分かりづらかった。その説明も出来ていなかった。県の資料の大きさが他の物と違いバタバタした所もあったと思う。

●委員

知らない部分があり、勉強になったなというふうに感じた。

運営の部分は、アンケート用紙などの準備がスムーズに行けばいいかなと感じた。

●委員

いろんな話を聞けて、本当に分かりやすかった。来ていない人にも聞かせてあげたい。

資料の準備で何が正しい資料なのか分からなかった。飲酒運転啓発のチラシにポケットティッシュがあったが、挟みづらく大変だった。

●委員

トークフォークダンスの話が多く、参加したいと思った。

出来る限り、資料は前日に準備出来ればいいと思う。

●委員

今回の講演で社会教育委員とは何かという所が見えたかなと思った。それぞれの立場のやることも見えた気がした。

例年、平日に開催しているため難しいとは思いますが、土日開催だとより多くの人が参加できるかもしれない。

●委員

私は参加出来なかったが、研修会の成果が上がりづらい中、アンケートの結果が良く素晴らしいと思う。

現在、子どもの学習の転換期が来ており、従来通りの先生が前に立ち子どもたちが聞くという授業の見直しが検討されている。子どもたちが何に疑問を持っているのかを吸収し、形を変えていくべきなのだが難しい。

この社会教育委員研修会も全く新しい形で実施出来ればいいと感じた。次回の福津市開催は先の話になるが、時間をかけて皆さんで作りに上げていければと思う。

●副会長

参加者の知識や経験が様々で、求められているニーズもバラバラで難しかった。その点を意識して講話をし、肯定的に捉えていただけた人が多く良かった。

対話型の研修会を参加者の3分の1が今後の研修で希望している所が良かったと思う。

今回もなるべく座学形式にならないように、パネルディスカッションではパネラー以外の方にも話を振っていた。

今後の研修会を対話型のような形式に繋げるための一歩を踏み出せたと思う。

●会長

皆さんありがとうございます。

これから今回の研修会の報告書を作り、提出すれば福岡ブロック研修会は終わりになる。

今後は、来年度開催地の古賀市さんが研修でやりたいことを拡大実行委員会に持って来ることになるため、他の自治体と協力しながら進めていくことになる。

当日の運営面では、スクリーンが暗いとの声が上がっていた。光が弱くホールでは、使えない。

●事務局

普段、会議室等で使っているプロジェクターを使ったので光が弱かった。光が強いタイプがあることを知らなかった。

●会長

空調の調整がいつも難しいが、今回は時期が良かった。

本来ならばやはり時期や日にちが合えば、土日などに開催ができれば、学校の先生方が来てくださったり、保護者の方が来てくださったりと、参

加者の層も変わるということは分かってはいる。しかし全ての人に完璧な研修会だと言ってもらうことは無理なので、全体的には、勉強になりましたと言っただけだったので成功だったと思う。

各地区のチラシなどを置けるフリースペースが受付の反対側にあったので中々見てもらえなかった。もっと見てもらえる工夫が出来れば良かった。

今回出た反省事項などは古賀市にも共有出来れば良いと思う。

○その他

福岡県社会教育研究大会について

●会長

11月1日に福岡県社会教育研究大会が行われた。文科省の方が第4期教育振興基本計画の趣旨を踏まえて、社会教育の更なる充実振興に向けて話をされていた。

内容自体は難しい内容ではなく、今回の研修会の内容に近い形だった。後半にはパネルディスカッションのような形で「社会教育人材はどうあるべきか」というタイトルでこちらも今回の研修会の内容に近いものだった。

文科省の方の話は、学校と地域がどういう形で手を携えてやっていくのか、それぞれの自治体によって違いがあるとは思いますが、地域の人や学校の子どもと一緒にこういうふうに学びを進めていくといいですよ、と話をされた。

どうしても地域の方が学校のためにあるというふうな印象が持たれることが多いので、そこの辺りを少し質問した。

回答は、学校と地域は夫婦のようなもので、お互いが協力して子どもを育てると夫婦に例え答えられていた。これから学校が地域と一緒に子どもたちを育てる活動をコーディネーターがつかないでくれると言う内容。

地域のスクールコミュニティということで、学校を核とした防災の話が別の会議で出ていた。昼間などの親がいない時間の災害時に、地域の高齢者をサポートできるのは地域の中高校生。中学生と一緒に防災教育をやっていくのはどうかと話が出ていた。全ての中学生が地域防災士のような立場になってくれたら中学生に自覚が出てくるのではないかと、また、自分達に出来ることを考えるようになり社会性を育むことになるのではないかとやっている方がいた。地域と学校で出来ることがまだまだあるんじゃないかなと、最近よく話を聞く。

今回の研修会での私たちの考えを、さらに進化出来るといいと感じた。

○生涯学習推進計画の策定について

●会長

生涯学習推進計画の見直しの時期が近づいている。今回は、生涯学習推進計画の上にある教育大綱や教育総合計画についても勉強が出来れば。

●事務局

教育総合計画の9ページにある図の説明。

いろいろな施策は上位の計画にぶら下がるような形である。生涯学習推進計画はスポーツ推進計画と同じように教育総合計画にぶら下がっている形になる。教育総合計画は、教育委員会の中で一番大きな計画としてある。なので、こちらの計画とズレがないように見直しを行う必要がある。

教育大綱は、市長が作るものになり、そちらにも沿う形に作ることが基本になる。ただ、市長部局と教育委員会でそれぞれに作るので少しズレる部分がある。

教育大綱は概ね4年を目途に見直しをおこない、その見直しを踏まえて教育総合計画や生涯学習推進計画も見直しをおこなうが、現状教育大綱の見直しはされていない。

●会長

教育委員会が生涯学習の推進計画を作るので、その基本的な考え方を生涯学習に関わっている社会教育に関わっているこの推進会議の方で答申書を作るため「生涯学習推進計画策定にあたって」を作った。

数年前に作ったものであり、現状と合わないものになっている。

●委員

私達は意見を述べるという立ち位置にあるので、これから4、5年間で何を目指していくか意見を求められたときに意見を言えるように準備するという意味で、生涯学習推進計画を読み込んでおくことはいいと思う。

●副会長

教育大綱や教育総合計画の見直しが行われたときに、さっと作れるように準備をすることが大事。今は作った時と比べて変わってきている部分を議論することはいいと思う。

●会長

今回配っている資料をしっかりと読み込み、次回皆さんにも感想を頂ければ。

○次回開催日について

1月17日(水) 18時30分